

Swagelok® 過酷条件用ユニオン・ボンネット型ニードル・バルブ N シリーズ / HN シリーズ パッキン調節手順説明書

本バルブは、工場テストを行うため、6.9 MPa の窒素を用いて調節を行っています。
(オプションのテスト・パラメーターの指定がある場合を除く)

⚠ 警告：バルブの耐久性を維持し、漏れを防止するためには、初回取り付け時および定期的にパッキンの調節を行ってください。

⚠ 警告：システムに取り付けたバルブのメンテナンスを行う場合には、必ず事前に以下の作業を行ってください。

- システム圧力の開放（システムの圧抜き）
- バルブの開閉
- バルブのパージ

⚠ 警告：バルブ内にシステム流体が残留する場合があります。

Swagelok®

必要な工具

- トルク・レンチ
(28.2 N·m までのトルクをかけられるもの)
- オープン・エンド・ヘッド
(表に記載のサイズのパッキン・ボルト用)
- スパナ (表に記載のサイズのロック・ナット用)



バルブ・シリーズ	ロック・ナットの六角部サイズ (インチ)	パッキン・ボルトの六角部サイズ (インチ)
3N	11/16	3/8
3HN	7/8	
6N	7/8	7/16
6HN	1 1/8	
12N	1 1/8	5/8

パッキン調節

1. ハンドルを反時計回りにまわし、バルブを全開状態にします。次にハンドルを時計回りに2回転まわします。
2. レンチを使用してパッキン・ボルトをしっかりと固定し、ロック・ナットを緩めます。
3. 指定のトルク値でパッキン・ボルトを締め付けます。

パッキン・ボルト・トルク値表

バルブ・シリーズ	Grafoil® 製 パッキン	PTFE / UHMWPE / PEEK 製パッキン
	トルク値 (N·m)	
3N, 3HN	2.8	3.4
6N, 6HN	12.4	8.5
12N	17.0	28.2

注意：システム圧力および流体の粘度によっては、さらにパッキン・ボルトの調節が必要となる場合があります。



4. ロック・ナットをパッキン・ボルトにねじ込み、指締めします。
5. レンチを使用してパッキン・ボルトをしっかりと固定し、ロック・ナットを 1/8 回転まわして指締めします。
6. バルブのテストを行い、正常に機能することを確認します。

その他の言語の取り扱い説明書もご用意しています。詳細につきましては、スウェーヂロック指定販売会社までお問い合わせください。

www.swagelok.co.jp

この日本語版取り扱い説明書は、英語版取り扱い説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じてしまった場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。



Grafoil—TM GrafTech International Holdings Inc.
Swagelok—TM Swagelok Company
© 2012 Swagelok Company
March 2012, R0
MS-CRD-0200J-E
B14P